

発行日:平成 30 年 8 月 30 日

担当:会員サービス課 service@niigata-cci.or.jp

〒950-8711 新潟市中央区万代島5番1号 万代島ビル7階

URL <http://www.niigata-cci.or.jp> E-mail office@niigata-cci.or.jp

閉塞感を打開し、アジアをつかめ！ ～嵐信彦氏熱弁 平成30年度会員大会～

平成 30 年度会員大会を7月 23 日、ホテルイタリア軒において334名の会員参加のもと開催しました。第一部では、ジャーナリストの嵐信彦氏が「これからの 10 年～元気のある企業と地域」をテーマに講演。第二部は福田会頭の開会挨拶、来賓の花角英世新潟県知事並びに篠田昭新潟市長の祝辞に続いて、古町芸妓の踊りも披露され、盛大に交流パーティーが行われました。

〈嵐氏講演会要旨〉



現在の日本は1960～90年代と比較すると、毎日が何となくどんよりしており、将来に対する夢がなかなか見られないという印象である。その要因として「勤勉さの緩み」「人口減少」が考えられる。この閉塞感を打ち破り、日本の企業・地域が元気になるにはどうすれば良いか？キーワードは「アジアをつかめ！」である。

人口減少に伴い、国内マーケットは縮小していくなかで、「アジアは日本の内需である」というくらいに大きく捉えて、国内だけでなく世界へ目を向ける必要がある。

日本は決して他国に劣っているわけではない。日本には誇るべき「勤勉さ」やモノづくりに対する「信用」「美的感覚」といった強みがある。その資質に裏打ちされた素晴らしい製品・サービスが沢山ある。もっと自信を持つとともに、時代に合った売り方を考えなければならない。

今後は、進展するネット社会のなかで、優秀な素材をどう売っていくか本気で考えていく必要がある。日本へのインバウンドは今や年間2、000万人を超え、ネットやSNSを通じて外国人が、実際に日本、ひいては直接地方にやってくる。国や県に任せるだけでなく、地方が自らよく

考えて、皆で協力していくことが、企業・地域を元気にすることに繋がる。

〈福田会頭挨拶〉

今月はじめに発生した西日本豪雨災害により、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された方々に対してお見舞いを申し上げます。また、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

中小企業を取り巻く環境は、人手不足への対策としてIoTやAIなどの活用による生産性向上が期待されているが、なかなか導入が進んでいないのが実情です。また、事業承継は喫緊の課題であり、30年度の税制改正で抜本的に拡充された事業承継税制の活用を含めて円滑な事業承継に向けた準備を進めるべき時を迎えています。当所ではこうした企業の各種取組みを支援するため、セミナーの開催や個別相談、専門家の派遣を行っているので、是非ご活用いただければと思います。

これからも、会員企業の繁栄と地域経済の発展に貢献できるよう精一杯努めて参りますので今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



社会保険労務士相馬事務所

特定社会保険労務士 相馬 篤哉

☆≡ 今月のテーマ 《 **労働時間の適正把握** 》

近年、長時間労働に伴う疾病の発症や過労死等が問題となっております。平成26年11月に、過労死等防止対策推進法が施行、さらに平成28年12月26日に「過労死等ゼロ緊急対策」が公表され、新たなガイドラインである「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン」が策定されました。

◆ 労働時間の考え方 ◆

労働時間とは使用者の指揮命令下に置かれている時間であり、使用者の明示又は黙示の指示により労働者が業務に従事する時間は労働時間に当たります。例えば、参加することが業務上義務づけられている研修・教育訓練の受講や、使用者の指示により業務に必要な学習等を行っていた時間は労働時間に該当します。

◆ 労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置 ◆

使用者は、労働者の労働日ごとの始業・終業時刻を確認し、適正に記録する必要があります。

原則的な方法としては、(1)使用者が自ら現認することにより確認すること。(2)タイムカード、ICカード、パソコンの使用時間の記録等の客観的な記録を基礎として確認し、適正に記録すること等が挙げられます。また、労働者からの自己申告制で労働時間を把握する方法も可能ですが、その場合の条件として、①自己申告を行う労働者や、労働時間を管理する者に対しても自己申告制の適正な運用等ガイドラインに基づく措置等について、十分な説明を行うこと。②自己申告により把握した労働時間と、入退場記録やパソコンの使用時間等から把握した在社時間との間に著しい乖離がある場合には実態調査を実施し、所要の労働時間の補正をすること。③使用者は労働者が自己申告できる時間数の上限を設ける等適正な自己申告を阻害する措置を設けてはならないこと。さらに36協定の延長することができる時間数を超過して労働しているにもかかわらず、記録上これを守っているようにすることが、労働者等において慣習的に行われていないか確認すること等の措置を講じる必要があります。

◆ 賃金台帳の適正な調製 ◆

使用者は労働者ごとに、労働日数、労働時間数、休日労働時間数、時間外労働時間数、深夜労働時間数といった事項を適正に記入しなければなりません。

◆ まとめ ◆

労働基準法においては、労働時間、休日、深夜業等について規定を設けていることから、使用者は、労働時間を適正に把握するなど労働時間を適切に管理する責務を有しています。しかしながら、現状をみると、労働時間の把握に係る自己申告制（労働者が自己の労働時間を自主的に申告することにより労働時間を把握するもの）の

不適正な運用等に伴い、同法に違反する過重な長時間労働や割増賃金の未払いといった問題が生じているなど、使用者が労働時間を適切に管理していない状況もみられます。長時間労働は労働者の健康管理の面からも重要です。

☆詳しい内容については、労務管理の専門家にお聞き下さい！新潟県社会保険労務士会ホームページ <http://www.sr-niigata.jp> ☆



坂本 光司／さかもと・こうじ

人を大切にする経営学会会長。1947年生まれ。福井県立大学教授、静岡文化芸術大学教授、法政大学大学院政策創造研究科（地域づくり大学院）教授、同静岡サテライトキャンパス長などを歴任。国や県、市町、商工会議所などの審議会・委員会の委員を多数兼務している。著書に『日本でいちばん大切にしたい会社』（あさ出版）、『この会社はなぜ快進撃が続くのか』（かんき出版）など。

「地元を大切にしながら成長発展する『最上川千本だんご』」

山形新幹線に乗り、山形駅を通り過ぎ終着駅である新庄駅の一つ手前の大石田駅で下車し、駅から車で5分ほど走った場所に古民家のようなすてきなデザインのお店があります。ここが「最上川千本だんご」の唯一の製造・販売拠点です。創業は、今から60年前の1958年、現代表の五十嵐智志さんのご両親が始めたお店です。創業当初は夫婦で豆腐の製造卸を専門とする、いわゆるお豆腐屋さんでしたが、豆腐屋としての限界を感じたため、豆腐の製造卸をやる傍ら、現在のお店のある大石田で収穫されたお米をふかしてつくだんごをつくり、「大石田だんご」と名付け副業として販売するようになりました。

この「大石田だんご」が今のように売れるようになった、そして、名前が「最上川千本だんご」に変わったのは、2000年に開催されたあるイベントがきっかけでした。山形市内の地元百貨店で「大石田フェア」があるので出展しないかと声を掛けられたのです。

「明日には、硬くなるだんごはいかが…」という呼び声で、つくりたての本物のだんごだからすぐに硬くなるという点をアピールして来場客に販売したところ、日に日に客が殺到し、最終日には、1日で1000本を売り上げることができたのです。このことがきっかけとなり、これまでの「大石田だんご」から県外の人も知っている最上川の名前を入れて、「最上川千本だんご」に名前が変わりました。

先日訪問した折、この最上川千本だんごを食べさせていただきましたが、正直絶品でした。それもそのはず、大石田で収穫されたお米をベースに厳選された原材料を使用し、一切の添加物を使用せず、スタッフが注文を受けてから1本1本手づくりで目の前でつくってくれるからです。現在、製造・販売されている種類は「ずんだだんご」「しょうゆだんご」「ごまだんご」「あんこだんご」、そして「くるみだんご」の5種類がメインです。ほかには四季折々の旬の原材料で味付けをしています。気になるところは値段ですが、1本120～140円と、安価（リーズナブル）な値段です。規模を大きくしようと思えば、要請のある全国各地の百貨店やスーパーマーケットに卸せばいいわけですが、同店はそうしたことは決してしないと明言しています。その理由は、単にだんごの日持ちの問題ではなく、五十嵐さん夫婦の大石田への強い思いからです。大石田町も、過疎化が著しく進行しており、この地に人を呼び込みたいのです。18年前までは、家族だけの小さなお店でしたが、現在は正社員が12人、パートやアルバイトが13人と、計25人の今や地域内外で著名な繁盛店になりました。

こうしたお店の存在を知ると、中小企業の問題は、ロケーションでも規模でも、広告力などでもなく、強くぶれない本物へのこだわりの有無と覚えてなりません。



万代くんとつばさくんの
「ロダン・タイムズ」

税理士：八百板 誠

行列を見ると 興奮しませんか？

月一の行列（福島県編）

& 夏限定行列（宮城県編）

おみやげは、だいふくりーむ & みらい

旅のおみやげ 4

旅先で偶然に行列を発見。「ワクワク・ドキドキ なんだらう？」となりませんか？今月号は、そんな偶然に出会った南東北の旅です。

高速道路「2018東北観光フリープラン」が、発売中。

前半は、福島県郡山市方面を旅行中に偶然見つけた（聞いた）早朝の行列です。後半も、宮城県仙台市手前の村田 I. C 近くで見つけた、開店時の行列です。

（その1）夏は、ぬるい温泉が一番。

郡山ジャンクションから、車で一時間以内の4湯。

ぬるい順番に紹介します。6月30日泊りの旅行先は、一番ぬるい温泉でした。

- ① 磐梯熱海温泉
（駅近くの共同浴場、近くの日帰り可のホテル）
- ② ぬる湯温泉二階堂
（こちらは、福島市泊りの方がベスト）
- ③ 赤湯温泉 好山荘
（野地温泉近く、土曜日午後出発では、17時頃郡山に着かない）
- ④ 玉梨温泉せせらぎ荘
（大黒湯37度が40度に湧出変化。当初加温と疑った。ロダン君自己判定では、炭酸成分は2倍くらいにUP。熱くなったが、再訪したい。）

（その2）郡山市の、難攻不落な2店。

うち1店の予約が取れました。

- ① とんかつ 「仁亭」
（お昼の訪問を狙うが、10年間入れないお店。）
- ② 会津郷土食 「鶴我」
（夜の営業、過去10回くらい断られたお店。）

磐梯熱海温泉に入りながら、②「鶴我」に電話予約。なんと予約OK。しかし、夏は各種大会の開催ピーク。ホテルの手配に苦労をしました。普段泊まらない、郡山ワシントンホテルを予約。このホテルの真ん前が、「鶴我」でした。

鶴我の食レポ。おまかせコースは、2種類あります。5000円懐石コースは、提供時間が3時間・・・×。板前おまかせコースをお願いしました。はじめに、小さなお膳に小さなお椀6つ出される。一寸法師の感覚です。その後、吸い物、こづゆ4などが続き、メイン

は馬肉（1.5cm切）。大変おいしくいただきました。再訪を誓う。なお、地元有名中華店「珍満」の二次会へ。超満腹となり、ホテルへ。

（その3）翌日ホテル朝食中の会話で、行列を知る。

宿泊ホテルの朝食中、ホテルの窓から駅前通りに朝5時から行列があるとのこと。以前紹介の、「伊勢神宮の赤福朔日餅」が頭をよぎり、「きっと「薄皮饅頭の柏屋だ！」。朝食を中断。家族を残し、行列を目指す。予想どおりの「柏屋」の行列でした。

並びながらスマホ検索すると、行列の正体は、「柏屋さんの、朝茶会」とのこと。毎月朔日の朝茶会。薄皮まんじゅうの無料提供とある。10分後に家族が合流。行列に並び、30分経過し店内へ。朝茶会のルール説明をがありました。ルールは、簡単。2階の会場に着いたら、「おはようございます。」と声出しのみ。着座して、出来立ての薄皮まんじゅうの、粒あん & こしあんが運ばれます。当日は新商品「だいふくりーむ」が1品付き、計3品での朝茶会。（本当に無料でした）

なお、朝茶会は、今回で475回目とのこと。朔日が日曜日の場合。6時～8時の朝茶会に400人くらい並びそうです。この朝茶会の模様は、柏屋のHP→新着情報→最新トピックス→（第475回 朝茶会が開催されました）から確認することができます。（HP、写真2枚目に行列に並ぶロダン君の後ろ姿があります。）おみやげは、新商品「だいふくりーむ」。秘密のケンミンSHOWで取り上げられる前に、訪問ください。

（その4）後半は、地元の名物農産品に行列。8月いっぱい限定の農産物とは？

「2018東北観光フリープラン」の東北6県フリー版を事前申し込みして旅に出ました。ロダン君が、東北6県フリー版を利用するなら、青森県か岩手県北部（久慈）を目指す。

新潟を朝6時に出発、9時少し前、仙台市手前の「村田 I. C」に差し掛かりました。最近の高速道路の看板に「途中下車」と書かれた「道の駅」があります。長距離運転防止のための看板ですが、何気なく、村田の道の駅でトイレタイムと思い、村田インターに到着したのが8時45分でした。朝から駐車場警備員が2名。「もしや・・・」が的中、9時開店の道の駅に並び約50人の行列を発見しました。行列に並んでからスマホ検索すると、トウモロコシ「みらい」を買いための行列でした。生でも食べられるトウモロコシであり、地元では有名らしい。ここで、ロダン君は悩みます。トウモロコシは買いたいけど、旅行先へ向かう途中。5本の試し買いにとどめ、次回の再訪を誓う。

帰宅後、電子レンジで温め食べましたが、甘さがあり美味しくいただきました。余談ですが、9月に入ると、青森県岩木山神社付近で「獄（だけ）きみ」というトウモロコシが甘く、お土産にお勧めします。

業況DIは、天候要因もあり3ヵ月連続の悪化。先行きも不透明感残る

7月の全産業合計の業況DIは、▲16.7と、前月から▲1.3ポイントの悪化。原材料費、燃料費上昇による負担増や深刻な人手不足の影響により、製造業を中心に広く業況感が悪化した。また、記録的な猛暑に伴い、夏物商材の需要拡大を指摘する声の小売業から聞かれた一方、サービス業からは猛暑や大雨などの天候不順により客足が減少したとの声が聞かれた。消費者の節約志向も根強く、足踏み状況が続いていた中小企業の景況感は、足元で弱い動きがみられる。

先行きについては、先行き見通しDIが▲15.4（今月比+1.3ポイント）と改善を見込むものの、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。消費の持ち直しやインバウンドを含めた夏の観光需要拡大、生産や設備投資の堅調な推移への期待感がうかがえる。他方、人手不足の影響の深刻化や、燃料費・原材料費の上昇、コスト増加分の価格転嫁遅れ、米国の保護主義的な関税措置に端を発する貿易摩擦の影響を懸念する声も多く、中小企業の業況感はほぼ横ばいで推移する見通し。

▶▶ 日商の動き

検定最優秀者表彰

日商簿記など成績優秀者たたえる

日本商工会議所は6月8日、2017年度に日商が実施した簿記、リテールマーケティング（販売士）、日商PC（文書作成、データ活用）検定試験の最優秀合格者などに対する表彰式を行った。表彰式では、それぞれの最上級試験の合格者のうち、各回において最も優秀な成績を収めた5人と、簿記検定試験の団体戦である日商簿記検定全国大会の最優秀チームをたたえ、日商の三村明夫会頭から表彰状が贈られた。



三村会頭（前列左から2人目）と受賞者ら

被表彰者名簿

（順不同・敬称略）

検定試験名	氏名	職業・業種	年齢	受験地
日商簿記 [第146回]	文屋 克隆	大学生	20	川崎
日商簿記 [第147回]	田辺 信吾	大学生	20	大垣
リテールマーケティング（販売士） [第81回]	富本 凌規	会社員	23	東京
日商PC（文書作成）	齊藤 美咲	大学生	21	広島
日商PC（データ活用）	山崎 静香	会社員	42	東京
2017年度 日商簿記検定全国大会優勝チーム	朝日大学	—	—	岐阜

（年齢は2018年6月8日現在）